

助成事業実施報告書

団体名 復興ボランティアタスクフォース

代表者 氏名 高田 昭彦



▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

チェーンソー訓練

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

新潟県の中越地震で災害ボランティアデビューした代表高田が、経験を地元の川崎市で活かそうと2006年6月に団体を立ち上げた。設立当初は講師招聘の講演会等を開催していたが、近年はテクニカルボランティアとしてチェーンソー訓練を実施している。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

災害ボランティアは今までは、準備の無い初心者をいかに活動に結び付けるかにもっぱらボランティアセンター側が準備を行って、コーディネートを行ってきた。近年の被害増大を鑑み、また、災害ボランティアの意識、技能の向上を願ってチェーンソー訓練を行うものとする。また、学会等での活動報告も行う。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

多摩川河川敷訓練に加え、神奈川県逗子市、東京都世田谷区、東京都練馬区でのチェーンソー訓練を行った。神奈川県逗子市の神武寺ハイキングコース周辺等で、OJT的に延べ15回の里山保全活動を実施した。当初の予定には無かったが、12/2に社会貢献学会で発表を行い、原稿に手を加え、災害復興学会の「復興」に掲載予定である(9/11 発刊予定)。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

チェーンソー訓練は4回。OJT的訓練は延べ15回で、当初予定した枯損木32本の伐採は終了した。参加者合計は延べ164名である。逗子市においては40才を祝う「ダブル成人式」で宣伝を行った。主管課である逗子市緑政課と繋がりができた。ハイキング客に認知され始め、参加希望者があった。地元の寺町プロジェクトと連携し、地元団体発足の動きがある。当初の予定には無かったが、社会貢献学会で発表を行い、原稿に手を加え、災害復興学会の復興に掲載予定である。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

地元団体発足の動きがあるが、予定調和では上手くいかない。スジを通そうとすると、時間がかかるし、そもそも期待した人伝手人材にも、いまひとつ届かないもどかしさがある。逗子市は緑多い土地柄で、自宅敷地内の伐採のためにチェーンソーを覚えたいというニーズがあり、今後、期待できる。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

写真のアドレス

https://nis.nikonimagespace.com/html/guest/ja/index.html?g=kh8IrrckkmzrGqEOT_252AmM6I pC3v5F_XbxE6Md5-IpfJKTQb3nZGAW0XQJqE9m8gH8NHv6n1GE3kkL4TTfKg#grid

https://nis.nikonimagespace.com/html/guest/ja/index.html?g=pu13S8KzWgmELqv5-JioTKPzq_ViV0YbVRmSbWBoIIQpfJKTQb3nZGAW0XQJqE9m8gH8NHv6n1GE3kkL4TTfKg&r=1#grid

<https://zushi-hayama.keizai.biz/headline/24/> 逗子葉山経済新聞 掲載 アドレス

チェーンソーを初めて触る方向けの

チェーンソー実習

労働安全衛生規則36条の安全衛生特別教育講習ではないので、同修証の発行はありません

2018/2/18 (日)

10:30開始
～15:30終了

実習に適した汚れてもいい服と靴でお越しください。
機器・防具・工具・備品等は、講師陣の私物貸与で行います。
防具（ヘルメット・ゴーグル・皮手袋・チャップス）は、
参加者が交代で身に付けるため互いにご協力ください。
近くに飲食店が少ないので、昼食持参の方が多いです。
会場の都合により、16時までに撤収厳守です。

参加費 ¥2,000

当日お支払いください。領収書をお渡しします。

⇒森林ボランティア保険料、及び、混合燃料・チェーンソーオイル・材木等消耗品の費用として



多摩川河川敷（国交省の許可を取って開催します）
二ヶ領せせらぎ館（川崎市多摩区宿河原1-5-1）
の建物右手より河川敷に降りた処です。
小田急線/南武線 登戸駅下車 徒歩約10分

その日を、事故・怪我のない一日にするために

【対象：災害ボランティア等にかかわるチェーンソー初心者の方】

- ・触ったこともないけど、チェーンソーを使って実際に木を切ってみたい方
- ・使ったことはあるが、使う機会が少ないので基礎を確認したりスキルアップしたい方
- ・マイチェーンソーを持っているが、取り扱いや目立てに不安がある方（マイチェーンソー持参可）
- ・特別教育講習は受講したが、その後時間が経ってしまってチェーンソーを使うのに自信がない方
- ・立木伐採、枝落とし、玉切り、竹伐採、薪づくり、床上げ等の現場で、自分ができることや注意事項を確認したい方

【内容：チェーンソー実習】

班分け後、担当講師が参加者の経験等を考慮した項目について、班別の実習を行います。
限られた時間内のため実習内容はご希望に添えかねる場合があります。

- チェーンソーの構造と取扱い方法●安全のためのルール（キックバックの防止）
- エンジン始動●丸太切り●受け口のつくり方●根太等を切らない床上げのために
- 目立て●メンテナンス●他（リクエストに応じて）

そして、希望する方は私たちと一緒に現場へ行きましょう。
経験を重ねて正確な技術を身に付けてください。
福島や神奈川等で活動する仲間を待っています。



事前申込制

参加ご希望の方は、前日までにお申込みください。

先着順に受け付けます。定員に達した場合は事前に締め切る場合があります。

実習の参加や見学について質問がありましたら、お問い合わせください。

※荒天等の事情により中止となる場合は、前日までにご連絡します。

＝見学の方はご自由にお越しください＝

お申込は高田まで



ご氏名、住所、電話番号、
メールアドレスをお知らせください
fukkou.volunteer@gmail.com
当日連絡先：090-3804-9824



真如苑助成事業

【主催】
復興ボランティアタスクフォース

【後援】
川崎市・神奈川県社会福祉協議会・
川崎市社会福祉協議会・かわさき市民活動センター・
世田谷区社会福祉協議会・世田谷ボランティア協会・
狛江市社会福祉協議会（順不同）

